

重キヲ要ス。單ニ民法上ノ婚姻取消原因タル詐欺ヲ以テ足レリトセズ。況ンヤ民法上ノ婚姻取消原因タル詐欺ニサヘモ該當セザル行爲ヲ刑法上ノ本條「誘惑」トナスコトヲ得ナイ。民法ノ婚姻取消原因タル詐欺ニオイテサヘ、既ニ一般ノ總則規定ニ於ケル詐欺ト異ツテ、一層「念入りノ」詐欺タルコトヲ必要トスル。

前示確定判決ハ、結婚申込ニ對スル合意承諾ノ決定ニ付テ、結婚申込ヲ受ケタル相手方ハソノ申込者ニ對シ、種々ノ質議ヲ爲シ得ルト同時ニ、質議ヲ受ケタル申込者ニ解答ノ義務アリトイフ前提ノ下ニ被告兩名ノ結婚誘拐罪ヲ認定シテキル。

然レドモ結婚申込ミニ對スル合意承諾ヲ決定スルタメノ質議應答ハコレヲ爲スモノモ、コレヲ受クルモノモ共ニ道德的範疇ニ於テ相互ノ禮讓且ツ誠實ナランコトヲ要求セラレルダケノモノデ、法律的範疇ニ於ケル責任事項トシテ義務ツケラレテキナイ

ノガ、結婚ノ申込ト承諾ニ關スル社會生活實際ノ經驗的慣習デア

ル。依ツテ上申人ハ被告兩名ノ石原政江ニ對スル被告米一ノ結婚申込ニ際シ被告兩名ニ人事民事刑事一切ノ諸法規ニ於テ既ニ完全ニ解消シタル「特殊部落民タル身分」ヲ告知スベキ義務アルニカ、ハラス、ソノ告知義務ヲ果サズ石原政江ノ米一ヨリ申込ミタル結婚ノ合意承諾決定ヲ錯誤ニ陷レタルガ故ニ結婚誘拐罪ヲ構成スト認定シタル確定判決ハ、婚姻ノ申込ト承諾ニ關スル慣習ヲ無視シ結局罪トナラザル事實ヲ有罪トシタル誤判ナルコトヲ指摘スル尙上申人ハ爰點ニ於テモノノ所信ノ正確ヲモ裏付ケル爲ニ學者ノ本件ニ對スル批判ヲ引用スル。

「元來、婚姻ニツイテハ、多少ノ誇張隱蔽ハアリガチノ事故、結婚取消ノ原因タルベキ詐欺ハ相當念入りノモノタルコトヲ要スル」(種積重遠「親族法」昭和八年三〇五頁)